

温かく園児をこそ慰問

高松宮妃、水俣の童園へ

水俣市の全国ハンドボール選手権大会にご出席の高松宮妃殿下は十三日午前八時半から同市浜公園での開会式のあと、市内平のヒカリ童園をご視察になった。堀園長と、妃殿下は「あれは三笠宮の監案内で同園の子供浴場や遊き場な

どの施設をこらんになり経営状態についても熱心に質問された。

同園の庭で幼児たちが五木の子守唄のフォークダンスをご披露すると、妃殿下は「あれは三笠宮の監修でしたね」と笑顔で拍手をおく

られ、自からカメラをとって子供たちの遊ぎを撮影された。また頭にはうたいをつけた園児の手をとって早く元気になって下さいと激励の言葉をおくられた。続いてハンドボール大会の各会場の試合をご観戦、同十四時四十分市立病院の水俣専用病棟をご慰問、一人一人患者から名前や家族の様子をお聞きになって励ましの言葉をおくられた。



水俣病患者をお見舞になる高松宮妃殿下（水俣市立病院）

上り急行「きりしま」で福岡に向われ、高松宮とともに十四日午後零時四十分板付発空路帰京の途につかれる。

このあと妃殿下は一たん宿舎で休憩、午後三時五十七分水俣駅発